

長野県立美術館で「庵野秀明展」開催

会期：2023年11月25日（土）～2024年2月18日（日）

庵野秀明展

HIDEAKI ANNO EXHIBITION

長野県立美術館では2023年11月25日（土）～2024年2月18日（日）まで「庵野秀明展」を開催します。

▶展覧会概要 「庵野秀明展」

[会期] 2023年11月25日（土）～2024年2月18日（日）

[会場] 長野県立美術館 展示室1・2・3

[開館時間] 9:00～17:00（展示室入場は16:30まで）

[休館日] 水曜日、年末年始（12/27-1/3）

[主催] 長野県、長野県立美術館、テレビ信州、
独立行政法人日本芸術文化振興会、文化庁

[共催] 長野県教育委員会

[協賛] DNP 大日本印刷

[企画] 庵野秀明展実行委員会

[企画協力] カラー、グラウンドワークス、アニメ特撮アーカイブ機構

[後援] 長野市、長野市教育委員会、長野商工会議所、善光寺、長野県芸術文化協会、（公財）八十二文化財団、（公財）ながの観光コンベンションビューロー、JR東日本 長野支社

[観覧料] ▶前売券：一般1,500円、大学生・高校生1,200円 ※販売期間：9/15（金）～11/24（金）

プレイガイド：長野県立美術館、セブン-イレブン（セブンコード：102-451）、ローソン（Lコード：34860）
※長野県立美術館で前売券をご購入の場合は現金決済のみ対応（当日券はクレジットカード決済可）。

▶当日券：一般1,700(1,600)円、大学生・高校生1,400(1,300)円、中学生以下無料

※（ ）内は20名以上の団体料金。

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と付き添いの方1名は無料。

※大学生および高校生の方は身分が確認できるものをご提示ください。

※当日券は長野県立美術館でのみ販売。



東京会場の様子 提供：庵野秀明展実行委員会

■報道関係のお問い合わせ

長野県立美術館 広報・マーケティング室

〒380-0801 長野市箱清水1-4-4（善光寺東隣）

TEL：026-232-0052 FAX：026-232-0050 E-mail：nam-pr@naganobunka.or.jp

庵野秀明をつくったもの 庵野秀明がつくったもの そして、これからつくるもの

庵野秀明 HIDEAKI ANNO EXHIBITION 展

総監督を務めた『シン・エヴァンゲリオン劇場版』が興行収入 100 億円を超える大ヒットとなった庵野秀明。本展は、アニメーター時代に参加した過去作品や、監督、プロデューサーとして活躍する最新の仕事までを網羅し、創作活動の秘密に迫る。自身の原点となった「アニメ」「特撮」作品の貴重な原画やミニチュアなどをはじめ、アマチュア時代から現在までの直筆の膨大なメモやイラスト、独自の映像作りに欠かせない脚本、設定、イメージスケッチ、画コンテ、レイアウト、原画からミニチュアセットに至るまで多彩な制作資料を余すところなく展示する世界初の展覧会。



『風の谷のナウシカ』 1984年公開
© 1984 Studio Ghibli・H



『新世紀エヴァンゲリオン』 1995年放送
© カラー / Project Eva.

【過去】

庵野秀明の原点と 彼がリスペクトするもの

『ウルトラマン』や『仮面ライダー』、『宇宙戦艦ヤマト』や『機動戦士ガンダム』など、庵野秀明が幼少期から敬愛する漫画、アニメ、特撮作品にまつわる、原画、セル画、ミニチュア、マスクやスーツなど貴重な資料を一挙に展示。庵野が観てきた作品を振り返ることで、「庵野秀明をつくったもの」を体感していく。

【現在】

アマチュア時代から 現在に至るまでの軌跡をたどる

無名だったアマチュア時代から、一世を風靡した『新世紀エヴァンゲリオン』、そして興行収入 100 億円を超える記録となった『シン・エヴァンゲリオン劇場版』に至るまでを紹介。庵野秀明が何を考え、つくってきたのか、数十年に及ぶ創作活動を門外不出の関連資料で辿り、映像制作にかける情熱と試行錯誤の過程を紐解いていく。

【未来】

未来へ継承するための アーカイブ

「僕らがいなくなってもアニメや特撮が残るようにしたい」という思いで庵野秀明が立ち上げた ATAC（特定非営利活動法人アニメ特撮アーカイブ機構）をはじめ、未来へ向けた継承のためのプロジェクトを紹介。

庵野秀明 監督・プロデューサー



1960年、山口県生まれ。学生時代から自主制作映画を手掛け、その後TVアニメ『超時空要塞マクロス』（1982年）、劇場用アニメ『風の谷のナウシカ』（1984年）等に原画マンとして参加。1988年、OVA『トップをねらえ！』でアニメ監督デビュー。1995年にTVアニメ『新世紀エヴァンゲリオン』を手掛け、1997年の『新世紀エヴァンゲリオン劇場版』とともに社会現象を巻き起こす。1998年、『ラブ&ポップ』で実写映画を初監督。2006年、株式会社カラーを設立し、代表取締役役に就任。自社製作による『エヴァンゲリオン新劇場版』シリーズ（2007年～）では、原作、脚本、総監督、エグゼクティブ・プロデューサーを担当している。実写映画『シン・ゴジラ』（2016年）では脚本・総監督を務めた。2021年3月、『シン・エヴァンゲリオン劇場版』を公開、興行収入102.8億円をマーク。2022年4月、「紫綬褒章」を受章。2022年5月、企画・脚本を務めた実写映画『シン・ウルトラマン』公開。2023年3月、脚本・監督を務めた実写映画『シン・仮面ライダー』公開。

- ▶ 展覧会公式 X (Twitter) @annohideakiten
- ▶ 展覧会公式ホームページ <https://www.annohideakiten.jp/>
- ▶ 美術館ホームページ <https://nagano.art.museum/exhibition/annohideaki-exhibition>

■ 報道関係のお問い合わせ

長野県立美術館 広報・マーケティング室

〒380-0801 長野市箱清水 1-4-4 (善光寺東隣)

TEL : 026-232-0052 FAX : 026-232-0050 E-mail : nam-pr@naganobunka.or.jp



長野県立美術館
Nagano Prefectural Art Museum

庵野秀明展 広報用画像申込書

会期：2023年11月25日（土）～2024年2月18日（日）

■本展覧会の広報用写真を用意しております。ご希望の写真の左欄に○をつけて、メールまたはファックスにてお申し込みください。写真はデータにてお送りします。

○をつけて ください	画像名
	①『じょうぶなタイヤ! SHADO タイヤ』 1980年発表 ©H.ANNO
	②『風の谷のナウシカ』 1984年公開 ©1984 Studio Ghibli・H
	③『ふしぎの海のナディア』 1990年放送 ©NHK・NEP
	④『新世紀エヴァンゲリオン』 1995年放送 ©カラー/Project Eva.
	⑤『シン・ゴジラ』 2016年公開 ©TOHO CO.,LTD.
	⑥『シン・ウルトラマン』2019年12月11日解禁ビジュアル 2022年公開 ©2022「シン・ウルトラマン」製作委員会©円谷プロ
	⑦東京会場の様子 提供：庵野秀明展実行委員会
	⑧東京会場の様子 提供：庵野秀明展実行委員会
	⑨東京会場の様子 提供：庵野秀明展実行委員会
	⑩東京会場の様子 提供：庵野秀明展実行委員会
	⑪展覧会ロゴ

●貴社についてお知らせください

貴社名 / 媒体名（雑誌、番組名等）

ご担当者名 / 所属部署

ご住所〒

電話 / FAX

E-mail

ご掲載・放映の予定日があればお知らせください。 月 日（ ）に発行、または放映予定

※掲載紙・誌を1部ご惠贈いただければ幸いです。

■報道関係のお問い合わせ

長野県立美術館 広報・マーケティング室 〒380-0801 長野市箱清水1-4-4(善光寺東隣)

TEL:026-232-0052 FAX:026-232-0050 E-mail: nam-pr@naganobunka.or.jp

**「庵野秀明展」
広報用画像一覧**

※画像提供をご希望の場合は、別紙「広報用画像申込書」に必要事項をご記入の上、メール又はファックスにてお申し込みください。
※全図にて使用ください。トリミング不可

No	画像	作品名 (*掲載必要)	発表年 (*掲載必要)	クレジット (*掲載必要)
①		『じょうぶなタイヤ！SHADOタイヤ』	1980年発表	©H.ANNO
②		『風の谷のナウシカ』	1984年公開	© 1984 Studio Ghibli・H
③		『ふしぎの海のナディア』	1990年放送	©NHK・NEP
④		『新世紀エヴァンゲリオン』	1995年放送	©カラー／Project Eva.
⑤		『シン・ゴジラ』	2016年公開	©TOHO CO.,LTD.
⑥		『シン・ウルトラマン』 2019年12月11日解禁ビジュアル	2022年公開	©2022「シン・ウルトラマン」製作委員会 ©円谷プロ
No	画像	画像名 (*掲載必要)	-	-
⑦		東京会場の様子 提供：庵野秀明展実行委員会		
⑧				
⑨				
⑩				
⑪			展覧会ロゴ	